

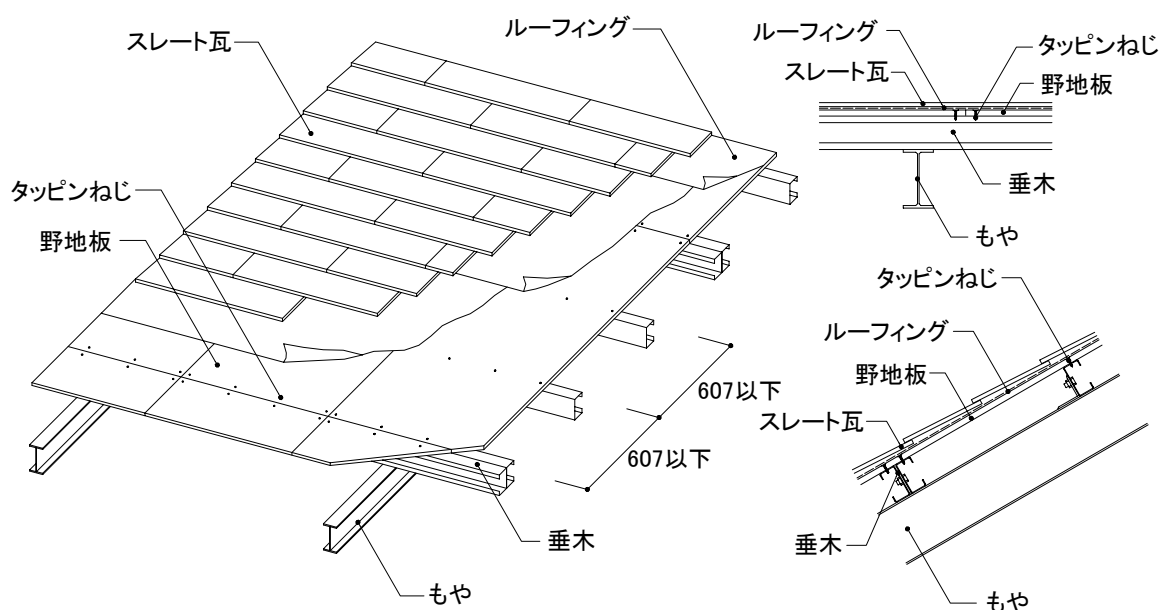
## 4. ディテール

### 4-1 屋根

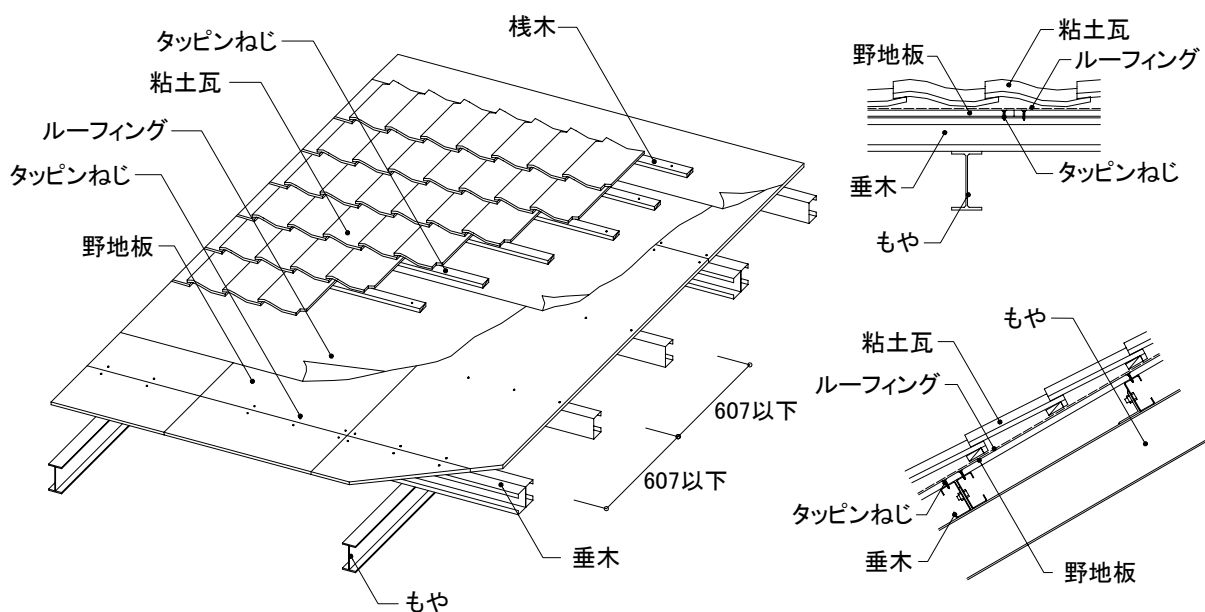
#### ①標準施工方法

屋根下地（野地板）に、木質セメント板（木毛セメント板・木片セメント板）を使用した屋根の標準的な施工方法を示します。野地板は木毛パーライトセメント板及び複合板も同様の施工方法でご使用いただけます。防・耐火認定、多雪地域、耐風圧等への配慮を要する場合は組合加盟の取扱メーカーへお問い合わせ下さい。

#### (イ) 化粧スレート瓦葺

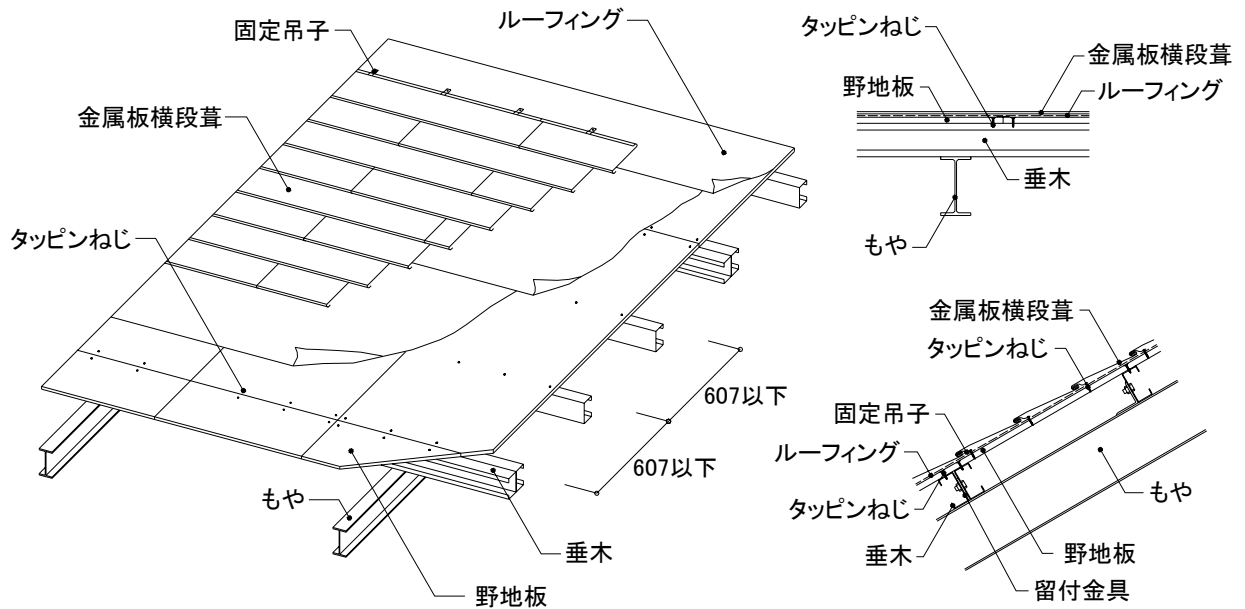


#### (ロ) 粘土瓦（和瓦、S瓦）、プレスセメント瓦葺



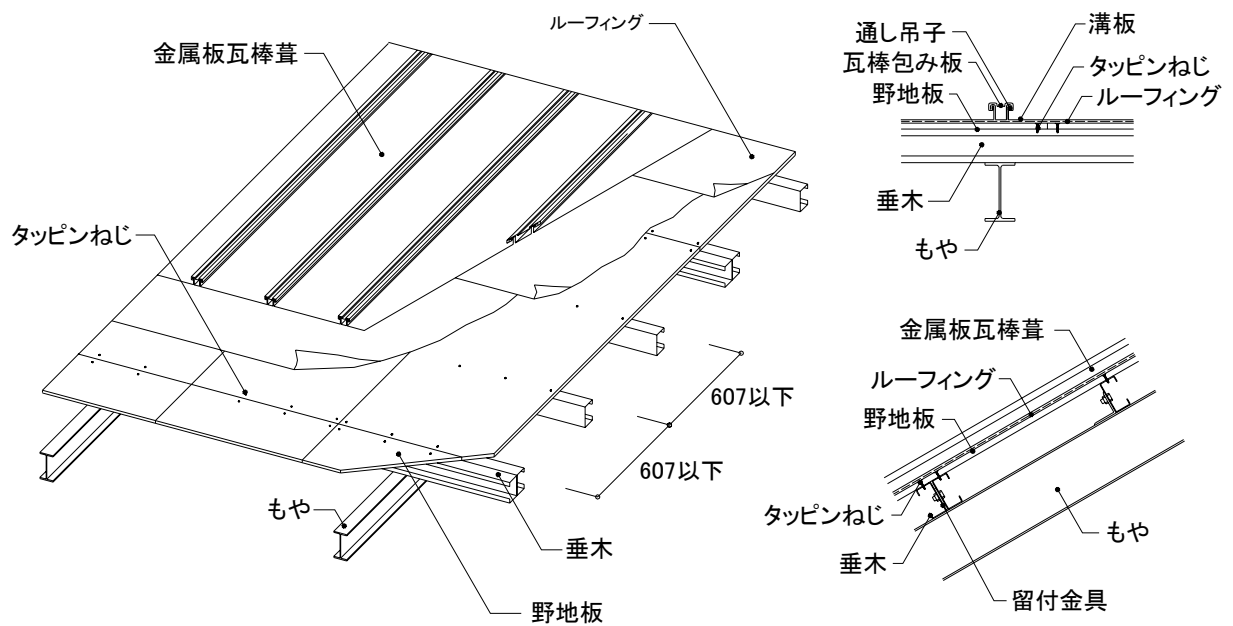
## (ハ) 金属板横段葺

固定吊り子は、タッピンねじ（4φ×20mm以上）で野地板に直接留め付けてください。（固定間隔は300～400mm）



## (ニ) 金属板瓦棒葺

通し吊り子、飛び吊り子は、タッピンねじ（4φ×20mm）以上で野地板に直接留め付けてください。



## ②施工上・安全衛生上の注意事項

### (イ) 下地組み

- ・野地板支持材（垂木）は軽量形鋼等を使用し、接合部は2本組みにして、607mm以下の間隔に組んでください。但し、多雪地域や強風地域では、曲げ強度・たわみへ配慮して、垂木間隔を調整して下さい。
- ・母屋は荷重（固定、風圧、積雪等）と支持スパンによって設定して下さい。
- ・野地板の施工前には、鉄骨下地の原寸チェックを行ってください。留め付け不良、板割れを防止し、ロス率の軽減になります。
- ・耐火構造とする必要があるときは組合加盟の野地板取扱メーカーへ問い合わせして下さい。

### (ロ) 野地板の切断

- ・チップソーを取り付けた電動丸鋸か、スレート鋸を用いて切断してください。
- ・切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には粉塵吸引装置を設け、また正規の作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等を使用してください。
- ・狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行い、粉塵量を低下させてください。
- ・切断時に出た粉塵が目に入った場合は、こすらないで流水で洗浄してください。また、吸引した場合はうがい等を行い、粉塵を洗い流してください。

### (ハ) 野地板の施工・作業

- ・常時水に接する環境での使用は避けてください。
- ・局部荷重や衝撃により割れることがありますので、下地のない箇所には乗らず、垂木の上を歩いてください。踏み抜き防止、墜落防止のため、足場板を使用するか安全ネットを張ってから作業を行ってください。
- ・重量物（屋根葺材等）は大梁のある部分へ敷板を置き、重量を分散させてください。
- ・強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。

### (ニ) 屋根葺材の留め付け

- ・野地板の施工後は、すみやかにルーフィングを施工してください。
- ・野地板が雨に濡れた場合は、充分乾燥させた後、ルーフィングを施工してください。雨に濡れたままの施工は、しみ、汚れ、波打ち、強度低下等の原因になります。
- ・屋根葺材は国土交通大臣認定の不燃材料を使用し、屋根工事共通仕様書に従って、野地板にタッピンねじ等で留め付けてください。特に強風地域では風圧力と、野地板のねじ等の保持力をチェックし、留め付け間隔を設計して下さい。
- ・細部の納まりは、屋根材の施工仕様に準じてください。

### (ホ) 野地板の塗装

- ・野地板を直接天井面として塗装を行う場合は、耐アルカリ性に優れたアクリル系かウレタン系の塗料で、シーラー塗装（下塗り）を行った後、塗装を行ってください。